

令和5年度 実施事業

公益目的事業 報告書



令和6年4月



一般社団法人
九州地域づくり協会
Kyushu Regional Management Service Association



笑顔をつなぐ地域づくり

一般社団法人九州地域づくり協会（前身は社団法人九州建設弘済会）は、昭和40年の設立以来59年間にわたり、河川や道路を舞台とした九州各地のボランティア活動などの地域活性化支援や社会資本整備に関わる広報活動などに幅広く取り組んで参りました。

その中であって、社会資本整備に対する国民のニーズが多様化する状況を踏まえ、平成15年からは、若手研究者の育成等を兼ねた研究等助成事業、また平成17年度からは、当協会の創立40周年を記念して土木遺産発掘調査に取り組むなど、多様なニーズに応じて事業内容を充実させ今日に至っています。

さらに近年では、平成28年4月熊本地震、平成29年7月九州北部豪雨、令和2年7月豪雨をはじめとした九州地方における大災害に対し、被災自治体や

災害ボランティアへの支援等へも積極的に取り組んでいます。

平成25年4月の一般社団法人移行にあたり、内閣府へ「公益目的支出計画」を移行認可申請書の一つとして提出し、内閣総理大臣より公益目的財産額の確定通知を受け、「公益目的支出計画」が確定しています。

この「公益目的支出計画」では、平成24年度までに実施してきた公益事業（収益を伴わない事業）をあらためて公益目的事業として位置付けし、社会貢献を続けています。

本報告書では、令和5年度に実施した公益目的事業について、九州各地の地域づくりや環境美化等の活動に活躍されている方々をご紹介します。

笑顔をつなぐ九州の地域づくりの参考となれば幸いです。

令和6年4月

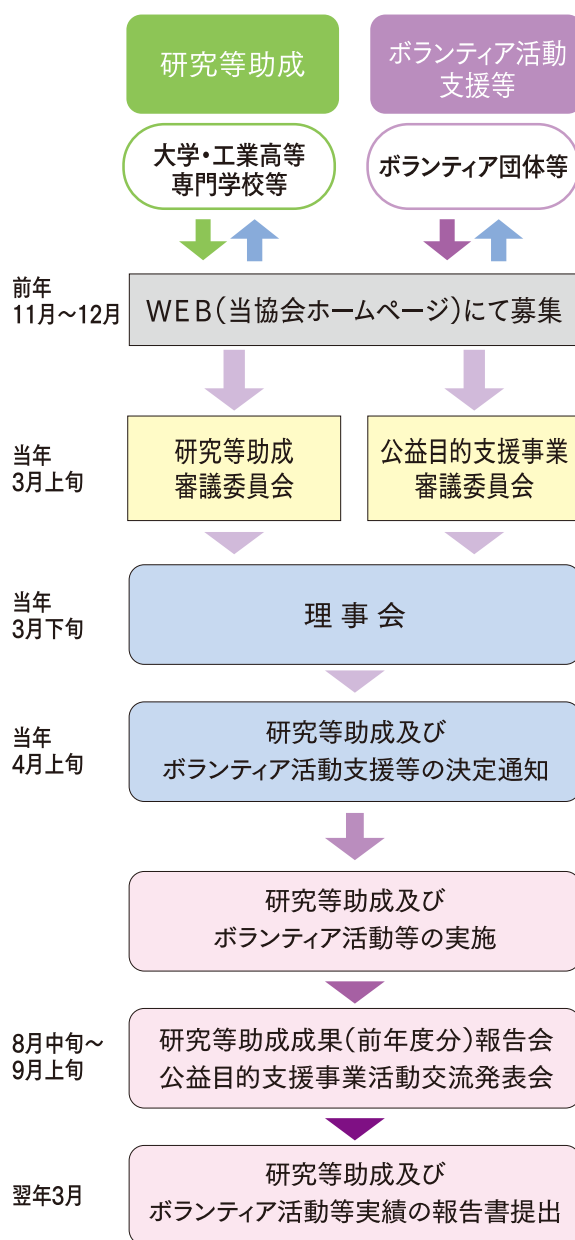


●公益目的事業の募集及び運営について

当協会では、公益目的事業として、
①社会資本整備に関する広報活動
事業、②建設事業の推進及び普及
のための調査研究事業、③地域活
性化等支援事業、④防災活動等支
援事業の4つを継続実施しています。

このうち、②の研究等助成事業は、
平成25年度より、外部有識者から
構成される「研究等助成審議委員
会」を設け、幅広い意見を反映した
手続きを行っています。

また、①、③、④のボランティア活動
等の支援事業についても、令和2年
度より、外部有識者から構成される
「公益目的支援事業審議委員会」を
設け、幅広い意見を反映した手続き
を行っています。



令和5年度

公益目的事業について

実施額合計：84.1(百万円)

1



社会資本整備に関する 広報活動事業

実施額：18.2(百万円)

【事業の概要】

国土開発の発展及び地域社会の繁栄に寄与することを目的として、国及び地方公共団体と連携を図りながら国土交通行政、社会資本整備に関する広報啓発活動、講習会等を通じて、一般市民の社会資本に関する理解を深める活動を支援します。

広報活動等事業

- p5 「国土交通Day」、「川の日」
交通事故防止キャンペーン

講習会等事業

- p8 九州地域づくり協会主催によるセミナー等

九州建設資料館運営事業

- p9 協会図書室「KMAプラザ」の活用

2



建設事業の推進及び 普及のための 調査研究事業

実施額：34.4(百万円)

【事業の概要】

九州における社会資本整備の普及とさらなる理解を図ることを目的として、社会資本整備の歴史の調査研究を行うとともに、建設技術等の推進に関する調査研究及び人材育成への助成を行います。

調査研究事業

- p10 ①九州土木遺産調査研究
p12 ②九州地域の社会資本整備の歴史
p13 ③防災に関する調査研究
p14 大学等への研究助成事業
p15 人材育成に関する助成事業

3



地域活性化等 支援事業

実施額：16.9(百万円)

【事業の概要】

社会資本整備に対する理解の醸成を目的として、河川・道路等の愛護活動を通じた地域活性化、体験学習等を通じた人材育成、地域インフラの愛護活動及び地域資源等を活かした地域活性化の活動を支援します。

地域活性化等支援事業

- p16 公益目的支援事業活動交流発表会
- p17 ①河川・道路愛護活動を通じた地域活性化活動支援事業
- p18 ②環境(体験)学習による人材育成活動等支援事業
- p20 ③河川・道路等の愛護活動支援事業
- p24 ④地域資源の活用による地域活性化活動支援事業

4



防災活動等 支援事業

実施額：14.6(百万円)

【事業の概要】

安全・安心な暮らしに寄与することを目的として、近年の異常気象等により発生する災害に対し、公共土木施設等の整備・管理等に専門的なノウハウをもつ集団やNPO等が取り組む活動などを支援します。

防災活動等支援事業

- p26 災害復旧技術講習会(協会主催)
- p27 ①九州防災エキスパート会活動支援事業
- p28 ②災害被災地への復旧支援事業
- ③防災ボランティア活動等支援事業
 - 災害ボランティアへの支援
 - まちなか防災2023への支援
(NPO法人 白川流域リバーネットワーク)

1

社会資本整備に関する 広報活動事業

広報活動等事業

●全国行事

令和5年度「国土交通Day」

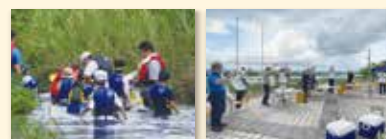


フォトコンテスト(国土交通Day)

令和5年度「川の日」



出典:「川の日」実行委員会HP、公益社団法人 日本河川協会HPより



出典:「川の日」実行委員会HPより



●図書等の配布



交通事故防止キャンペーン



会報九州



公益目的事業報告書



研究等助成事業
成果報告書

社会資本の整備・利活用に向けた地域活性化や啓発活動につながる事業及び全国規模開催の「国土交通Day」、「川の日」等へ協賛するとともに、小・中学校で実施されている「交通事故防止キャンペーン」等へ図書を寄贈しています。

また、協会活動等を紹介する「会報九州」、河川・道路・地域づくり等の支援についての「公益目的事業報告書」及び大学等への助成についての「研究等助成事業成果報告書」を作成しています。

土木関連の広報イベントでは、土木の仕事の魅力や社会資本整備、防災対応の重要性等をPRするとともに、九州各地における様々な土木関連の広報活動についても支援を行っています。

更に、一般公募により、地域住民へ河川・道路・地域づくり等の理解を深める啓発活動(広報・学習活動等)やNPO等の社会資本整備に関する広報活動の支援を行っています。

令和5年度は、九州内の23の活動団体に対して支援を行いました。

第27回 水シンポジウム2023 in さが

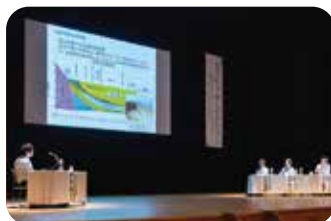
第27回 水シンポジウム2023 in さが 実行委員会

事業の内容

- シンポジウム
 - 特別講演 ● テーマ別分科会(パネルディスカッション)
 - 市民団体発表 ● 全体会議 ● パネル展示
- 現地見学会

事業の効果

- 二つの分科会の討議結果をもとに全体会議で、これからの水との関わり方についての提言を取りまとめることができました。



道守支援事業

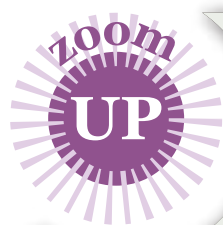
特定非営利活動法人 道守長崎

事業の内容

- 道守九州会議との連携事業
- 道守長崎情報交流事業
- 花植え・清掃支援事業
- 道守情報発信事業

事業の効果

- 今年度より道守長崎交流会が復活して情報共有の場ができたことで、各地域の道守さんのモチベーションが高まっています。
- 道路清掃活動や花植え活動により、地域の美化啓発につながり、きれいなまちづくりに貢献しています。



「土木ってメチャ、カッコいい」を伝えたい

土木そのものの認知度、知名度が低いいため進路の選択肢になることが少なく、子どもたちが憧れる仕事ではない、というのが現実です。しかし土木の真の姿は、最先端の技術を駆使し社会の基盤をがっちり支える重要な仕事なのです。そんな土木の面白さ、カッコよさを子どもたちに楽しく伝えることが、私たち「噂の土木応援チーム デミーとマツ」の使命です。2016年4月の結成後、小中学生を対象にコンクリートの吹き付けや岩盤の爆破など、学校では学べない土木の体験イベントや講演などを各地で開催するほか、土木の魅力をパワフルに伝える動画を作成し多彩なメディアで発信しています。協会からの支援金はこうした動画の撮影・編集費用や交通費などに役立てています。



噂の土木応援チーム
デミーとマツ

共同代表 出水 享 氏



土木の日 熊本行事

土木の日 熊本実行委員会

事業の内容

- 熊本の土木工事現場見学会
- 「土木の日」土木の体験会

事業の効果

- 次世代を担う子ども達に、普段見ることができない工事現場に触れてもらい、土木工事の魅力や大切さを感じていただくことができ、土木についての理解が深まりました。



第37回 宮崎「橋の日」イベント

宮崎「橋の日」実行委員会

事業の内容

- 「橋の日」イベント実施
- 「とんとん地震」絵本・紙芝居寄贈、及び上演のための研修会
- インフラメンテナンス国民会議九州フォーラムへの参画
- 「橋の日」の歌、CD制作

事業の効果

- 「橋の日」イベントを4年ぶりに対面開催することができました。テレビや新聞において、その活動状況が紹介されました。
- 「とんとん地震」の絵本、紙芝居が県内各地域で防災教育素材として活用されることになりました。



インフラメンテナンス国民会議九州フォーラム

インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム

事業の内容

- インフラメンテナンス国民会議九州フォーラム開催
- 基調講演
- パネルディスカッション

事業の効果

- 当事業により、インフラメンテナンスにおける自治体の悩みや包括的民間委託の現状と展望を水平展開することで、社会インフラ維持管理の未来像を参加者へ共有化することができました。



講習会等事業

講習会等事業は、河川・道路・地域づくり・防災等の社会資本整備に関する講習会等の開催や他団体の講演等へ支援を行っており、

令和5年度は、以下2件の講演(習)会を主催致しました。

第10回 地域づくり政策セミナー

■日時: 令和6年2月21日(水)13:30~17:00

■会場: TKP博多駅前シティセンター ホールA
受講者134名(会場参加64名、Web聴講70名)

■目的: 九州各地において地域創生の声が上がる中、昨年7月閣議決定の国土形成計画(全国計画)の趣旨を受け、九州地域の活力を醸成する取組について、各方面の有識者等の知見と次代を担う学生の期待感について知見をいただくため「自立できる地域づくり～地域の魅力を発見・発信そしてつなぐ～」を開催しました。

■セミナー内容

1)基調講演 「国土形成計画について」 国土交通省 九州地方整備局 企画部 九州圏広域地方計画推進室 事業調整官 佐伯 康夫 氏
「これからの地域づくりに必要なコト」 九州工業大学大学院 工学研究院 教授 吉武 哲信 氏

2)事例発表 ①「地域のファンづくり～聖地巡礼を広める～」 九州産業大学 地域共創学部 教授 大方 優子 氏
②「『土木遺産な旅のスズメ』に託した思い」 STORY DESIGN(株) 代表取締役 高山 美佳 氏
③「インフラを多面的に地域づくりにつなげる～高速道路のウチとソト～」 西日本高速道路(株)九州支社 地域共創担当部長 濱野 昌志 氏
④地域の魅力発見は駅から～JRウォーキングから広がる魅力発見～ 九州旅客鉄道(株)営業部 営業課(観光・D&S)副課長 実藤 裕久 氏

3)パネルディスカッション 「～地域の魅力を発見・発信そしてつなぐ～」

・コーディネーター 公益財団法人九州経済調査協会 常務理事兼事業開発部長 岡野 秀之 氏

・コメンテーター 九州工業大学大学院 工学研究院 教授 吉武 哲信 氏

・パネリスト ①九州産業大学 地域共創学部 教授 大方 優子 氏
②STORY DESIGN(株) 代表取締役 高山 美佳 氏
③西日本高速道路(株)九州支社 地域共創担当部長 濱野 昌志 氏
④九州旅客鉄道(株) 営業部 営業課(観光・D&S)副課長 実藤 裕久 氏
⑤九州産業大学 地域共創学部 観光学科2年 しめ野 未来 氏
⑥九州産業大学 地域共創学部 観光学科2年 松元 汰樹 氏



会場の様子



岡野 氏



吉武 氏



大方 氏



高山 氏



濱野 氏



実藤 氏



しめ野 氏



松元 氏

令和5年度 九州の河川維持管理技術に関する講習会(南部)

■日時: 令和5年12月16日(土) 13:00~17:05

■会場: TKPガーデンシティ鹿児島中央 薩摩ホール
受講者40名

■目的: 災害の激甚化や河川施設の老朽化が懸念されている中、堤防や河川などの維持管理を着実に進めていく必要性から、豊富な経験を有する官民の技術者の知見を活用し、河川管理に関わる技術者の技術力向上を目的として開催しました。

■講演内容:

「環境改善に活用可能な河川環境管理シートの作成法とその活用法(中級編)」

公益財団法人リバーフロント研究所 自然環境グループ 主任研究員

白尾 豪宏 氏

「河川管理に関する最近のトピックについて」

国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究室長

瀬崎 智之 氏

「九州における河川の維持管理について」

国土交通省 九州地方整備局 河川部 河川情報管理官

甲斐 公久 氏



会場の様子



白尾 氏



瀬崎 氏



甲斐 氏

九州建設資料館運営事業

当協会では、平成17年4月より、当協会福岡支所の九州建設資料館において、収集及び寄贈を受けた図書等の一般公開を行ってきました。

令和2年11月、更なる利活用向上を図るため、九州建設資料館より当協会本部へ閲覧対象の図書約2,800冊の移動を行い、「KMA※1プラザ」を設置しました。

※1) KMAは九州地域づくり協会の英文表記 Kyushu Management Associationの略です。

第1回 KMAプラザ講演会

令和6年3月12日、KMAプラザの更なる利活用推進と名誉会員 樗木 武 氏の「都市計画学」(令和5年12月13日)発刊を記念した第1回目の講演会を開催しました。

当講演会では「都市・まちづくりを考える」をテーマに、樗木先生が実際に撮影された写真を見ながら、我が国の都市づくりの変遷や、ビルバオ都市圏の先進事例をご紹介いただきました。

最後に、“人間”を大切にする「ヒューマン・スマート・シティ」を目指した再生を九州から進めて欲しいと提言をいただきました。今後も適宜、講演会を開催予定です。



九州大学名誉教授
樗木 武 氏



会場の様子

KMAプラザでは、主に河川、道路、トンネル、橋梁、建設、土木、環境等の分野の技術図書の他、災害記録や各種工事報告書なども閲覧することができます。

令和5年度においては、約40冊の寄贈図書等の追加登録を行ない、更なる蔵書充実に努めています。

開館時間	9:00～16:00 (会議室内に併設のため、事前にお電話でご確認及びお申込み下さい。)
休館日	土日祝日および年末年始 ※ 臨時休館等の変更あり
問合せ先	092-476-5680 (九州地域づくり協会 企画部企画課)
所在地	福岡県福岡市博多区博多駅東 2丁目5-19 サンライフ第3ビル4F

なお、対象図書については、協会ホームページの「図書検索システム」によりご確認できます。



交通のご案内 ●JR鹿児島本線 博多駅より徒歩3分

土木技術に関する資料寄贈をお願いします

ご寄贈くださる場合には、あらかじめ上記問合せ先にお電話をいただけたら幸いです。

<https://www.qscpuu.or.jp/kma/>



2

建設事業の推進及び普及のための 調査研究事業

調査研究事業

①九州土木遺産調査研究

調査研究事業

当協会では、九州各地域で先人達が叡智を結集し、後世の豊かな暮らしの基盤として築いてきた数多くの土木遺産に着目し、平成26年度より、過去から蓄積したデータを協会ホーム

ページ「土木遺産in九州」においてWeb公開してきました。

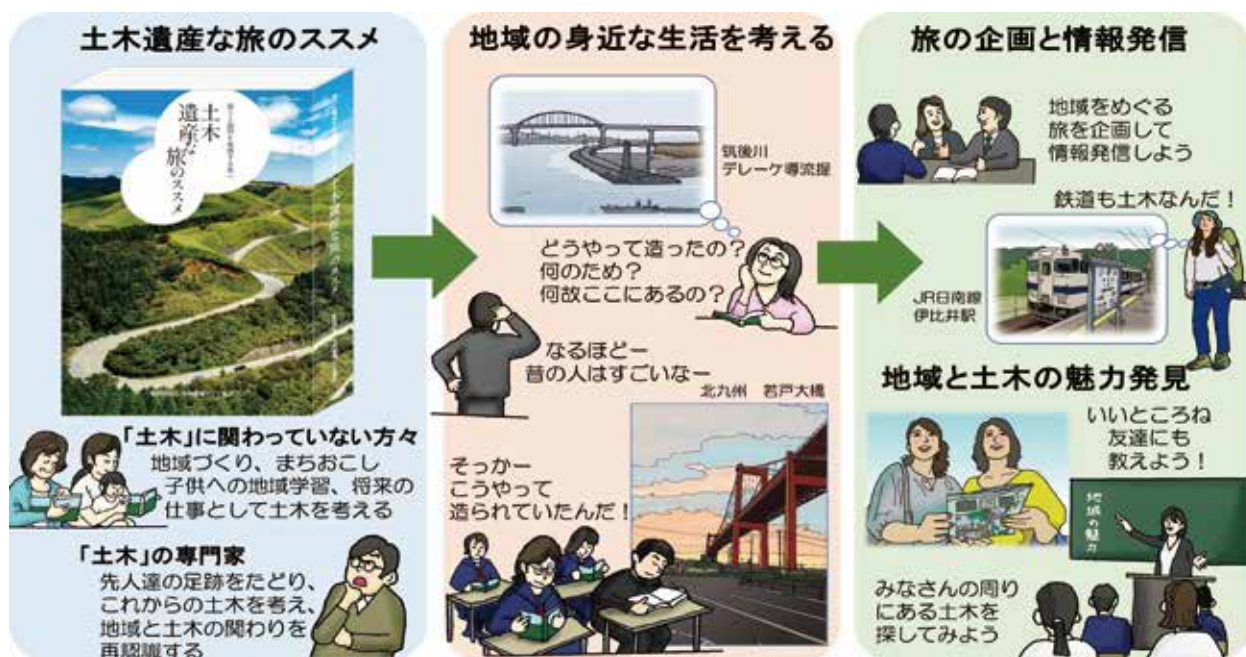


土木遺産 in 九州

「土木遺産な旅のススメ」活用策検討

令和2年より3年間、地域とともに在るこれらの土木遺産を、あらゆる世代の人びとに知っていたき、地域文化・活力の醸成に役立ててもらうため、九州各地でフィールドワークを行い、「旅」という視座での活用策の協議を重ねて来ました。

そのひとつの成果が300ページに及ぶ「土木遺産な旅のススメ」であり、地域の暮らしの礎となっている多様な土木遺産の物語(歴史・築造背景・目的・機能等)を301点の写真とともに編んでいます。



令和5年度は4,000冊を発行し、九州内の国県の行政機関、図書館、土木系高校、土木系大学など400箇所以上に配布するとともに、同年6月より、協会ホームページにおいても、Web版デジタルブックとして公開しています。



協会HPのトップにあるこちらのバナーからご覧いただけます

QRコードは
こちら →



西日本新聞等の地方紙や日経コンストラクションなどでも取り上げられ、(公財)九州経済調査協会が運営するライブラリーBIZCOLIでも特設コーナーが設けられるなど、各所において紹介されました。

更に、広報ツールとして教育現場やリクルート活動でも活用されています。

福岡県農業大学校では、農業を学ぶ学生たちに、地域の治水・利水をわかりやすく学ぶ教材として使われるなど、教育分野での活用が広がっています。

また、毎年開催される建設技術フォーラムの特設ブースでも来場した多数の大学生に土木技術の世界を知る一冊として配布されました。



R5.11.30西日本新聞



日経コンストラクション2023年10月号
「特集：土木旅」



BIZCOLI
「土木遺産な旅のススメ」
特設コーナー



「九州経済調査月報」
BIZCOLI PRESS



農業大学校 販路創造デザイン演習の風景



未来の農業を担う学生たち

「土木遺産な旅のススメ」

編集長・地域デザイナー 高山 美佳 氏

福岡県農業大学校のデザイン演習で、農業に欠かせない利水と治水を学ぶ教材として本書を活用しました。故郷の土木遺産を発見して喜ぶ学生たち。水を追い求め、土木技術によって豊かな農地を実現してきた歴史、農業と土木遺産の繋がりが、若い世代に直感的に響き、理解が深まったことを実感しています。

「本に載っている土木遺産を目指して出かけてみたい」「土木遺産を通じて歴史を学ぶことは重要」「古い橋が載っているので過去の経緯など勉強してみたい」などの感想をいただき、土木遺産の魅力を伝えることができました。

■建設技術フォーラム



土木分野への就職を検討している学生たち

大分県竹田市を土木遺産の魅力を伝える旅ノート作成の実践モデルとして、竹田市内及び周辺の土木遺産3コースの「地域の宝探し旅ノート」を地域主導で作成し、令和5年10月27～28日に開催された九州各地の道守団体400

名余が集う「みちづくし in 竹田 2023」にて配布しました。

参加者の皆さんからは「地図があり旅のルートが分かると巡りやすい」「他のルートも行ってみたい」などの高好評をいただきました。

Aコース 岡城跡・城下町を歩き 歴史文化を感じよう

城下町として栄えたこの地には、国宝指定史跡である岡城跡をはじめ、竹田市歴史文化館・由学館や旧竹田荘、武家屋敷通りや近年「謎」として注目を浴びる「隠しキリシタン」の遺物もあります。瀧廉太郎や田能村竹田を輩出した歴史と文化が色濃く残る町を散策するコースです。



Bコース 久住高原と先人の見た風景に触れよう

くじゅう連山や阿蘇五岳の雄大な山々を背景に四季折々の花々が楽しめるくじゅう花公園や、国内では珍しいイギリス原産の乳牛「ガンジー牛」を育てているガンジー牧場、風景画のように記憶に残る道が全長約52km続くやまなみハイウェイなど、大自然の中で素晴らしい絶景やエンターテインメント体験を五感で味わうことができるコースです。



Cコース 祖母山麓の名水、遺産巡り たけたの水文化を知ろう

「名水百選」に選ばれるほど美しい祖母山系から湧き出す天然水は、古くから農耕に恵みをもたらし、人々の生活を支えてきました。先人たちが時代の技術や知恵を結集し、後世のために築き上げてきた「音無井路十二号分水」や「明正井路一号幹線一号橋」「岩戸橋」「白水堰堤」などの土木遺産を巡るコースです。



旅ノートを利用した「土木遺産な旅」の実践

九州地方では、過去より大規模かつ多様な災害により教訓を得て様々なことを学んできました。

一方で、災害の教訓は伝えにくく、また過去の災害に関する資料が継承されず、十分に活用されていない状況も見受けられます。

このため、九州地方において過去に発生した地震、津波、火山災害及び風水害に関する調査結果を平成24年より収録し、当協会ホームページの「九州災害履歴情報データベース」として継続的な公開を行っています。

九州災害履歴情報データベースの利用促進

令和5年度は、近年でも頻繁に発生している災害について、今後の更新に向けたデータベースの更新方針を整理するとともに、現状での更新用データを整理しました。

また、地域防災団体への追加の意見収集により、当データベースの紹介や防災活動への利活用に向けたニーズ確認などを行い、防災活動の現状や問題点などを整理したうえで、防災活動における当データベースの利活用推進に向けた課題を取りまとめました。

1. 利用展開に向けた意見収集

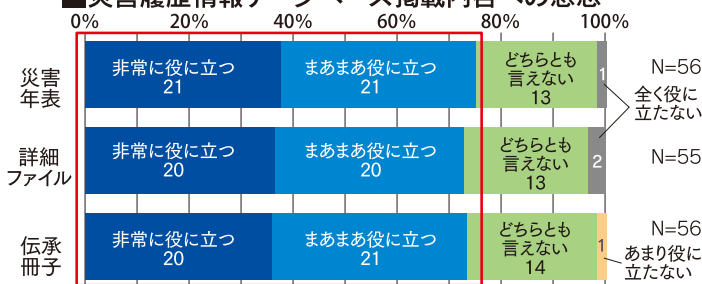
昨年度に引き続き、災害伝承活動にあたる方々にアンケート調査を行い、実際の活動状況を把握するとともに、当データベースに関する意見や今後の活用方法を検討しました。

当データベースでは「過去の災害状況がわかり参考になる」、伝承冊子では「子供から大人までわかるような内容が良い」など、7割以上で「役に立つ」というアンケート結果となりました。

■対象団体とアンケート実施状況

	R5検討	R4検討	
	災害歴史を学ぶ会 【佐賀県】	博多あん・あんリーダー会 【福岡県】	防災士会九州ブロック支部 【大分県】
事前ヒアリング	R5.10.2	R4.9.22	R4.10.21
アンケート	R5.10.5	R4.11.6～ R4.12.10	R5.2.17
回答数	5件	35件	21件

■災害履歴情報データベース掲載内容への感想



主要な掲載内容は、「役に立つ」という意見が7割以上

2. 伝承冊子の作成

昨年度の検討で作成した伝承冊子のレイアウトを基に、既往エピソードが無かった佐賀県と大分県を対象として、被災規模やエピソード性を踏まえた追加3件の伝承冊子を作成しました。

タイトル	地域
人助けのムクの木	大分県
有田の街並みを一変させた台風	佐賀県
悲しい伝説の残る小倉池	大分県



3. 今後の利用展開に向けて

今後も当データベースの利便性向上の観点から、継続的なデータベースの情報更新が望ましく、各地域で防災活動内容が異なることから、当伝承冊子を通して他地域の活動事例等を学ぶことにより、活動内容の幅が広がり実用性が高まると期待されます。

大学等への研究助成事業

国際化、情報化等の進展に伴い、国民のニーズが多様化する中で、適切な国土管理及び円滑な社会資本整備の進め方などに寄与するため、土木技術全般に関わるハード及びソフト両面についての調査研究が求められています。

このため、若手研究者の育成も兼ねて、九州地区の大学・工業高等専門学校に対して募集し、それに要する費用を助成しています。

なお、特定テーマとは①地域の活性化・再生、

②インフラの老朽化対策及び生産性向上方策、
③九州地域等における防災・減災対策であり、それ以外を一般としています。



令和5年度(第2回)研究等助成審議委員会

令和5年度 調査研究決定者一覧表

番号	大学名	研究課題名	研究テーマ	実施期間
1	熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 土木建築学科	潮位・高潮・高波・越波/打上げ・越流・下水道逆流・河川・降雨のマルチハザードによる氾濫予測結合モデルの開発	特定 ③	令和5年4月15日～ 令和6年3月31日
2	九州大学 工学研究院 構造及び地震工学	AI による内部鉄筋腐食程度の推定システムの開発に向けた基礎検討	特定 ②	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日
3	九州大学大学院 工学研究院 社会基盤部門	CFRP補強した鋼部材の接着特性と界面劣化機構の解明に基づく強度・耐久性最適設計の構築	特定 ②	
4	宮崎大学 工学教育研究部 土木環境工学プログラム	ガラス廃材を用いた高性能膨張コンクリートの開発	一般	令和5年4月上旬～ 令和6年3月31日
5	鹿児島大学大学院 理工学研究科 総合理工学専攻	UAV と可視光画像解析を導入した草本植生による法面保護工の施工・維持管理手法に関する検討	特定 ③	
6	九州大学大学院 工学研究院 社会基盤部門	火山堆積物を用いた海水練りコンクリートの特性評価	一般	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日
7	福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 (前 九州大学大学院 工学研究院 環境社会部門)	河砂覆砂による河口干潟の地盤環境改善効果の実証的検証	一般	
8	九州大学大学院 工学研究院 環境社会部門	ソーシャルセンシングおよび人流データを用いたインフラツーリズムの可能性評価	特定 ①	
9	福岡大学 工学部 社会デザイン工学科	ペレット状浄化剤によるアサリ漁獲量回復を目指す干潟環境修復実証研究	一般	
10	佐賀大学 理工学部 理工学科	交通規制を考慮した道路網のアクセシビリティの経時的変化と市街地の変容の関係性の研究	特定 ①	
11	大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター	北九州市圏域での雨の降り方と降雨浸透の現場モニタリングと斜面崩壊危険度予測指標の提案	特定 ③	継続
継続	長崎大学大学院 総合生産科学域 工学領域 システム科学部門	IoT 技術を活用した建設・環境テレメトリング手法の適用に関する調査研究	一般	

令和4年度 調査研究助成報告会[令和5年8月29日(金)]

平成15年度より研究助成事業を開始し、研究助成の成果発表会は昨年度に続き10回目の開催となりましたが、今回はすべてWebでの報告会となりました。



講評／角 知憲 氏
(研究等助成審議委員長)



報告会の様子

人材育成に関する助成事業

社会の国際化、情報化等に伴い、国民ニーズが多様化する中、適切な国土管理、円滑な社会資本の整備及び利活用を進めることが重要となっています。

このため、河川、道路、環境、防災、構造物維

持管理、景観デザイン等をテーマとして、九州地区の大学、工業高等専門学校、団体等を対象とした実践的な人材育成や教育の取り組みを募集しており、以下に助成を行いました。

令和5年度 人材育成決定者一覧表

番号	大学名	研究課題名	実施期間
1	九州大学大学院 工学研究院 社会基盤部門	道路舗装のライフサイクルマネジメントに関する実践的教育	令和5年4月10日～ 令和5年12月25日
2	第一工科大学 工学部 環境エネルギー工学科	土木科高校生を対象とした伝統的治水技術の実践的学習	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日
継続	長崎大学 大学院工学研究科 インフラ総合研究センター	新規建設業入職者を対象とした道守補助員コースの開催	令和5年5月1日～ 令和6年3月31日
継続	熊本大学 大学院先端科学研究部	熊本の水文化を世界に伝えるプロジェクト	

令和5年度 人材育成助成の実施状況

■九州大学大学院工学研究院 道路舗装のライフサイクルマネジメントに関する実践的教育

道路インフラを効率的に建設・管理していく上で生じる技術的な課題について、九州大学等の大学院生を対象とした講義や実習を行いました。

DXを活用した高速道路および関連施設の整備・維持管理のための方針、具体的施策について約4ヶ月の調査・検討を行い、最終発表会を実施しました。



すべり抵抗測定器を用いた実習状況

■第一工科大学 工学部 環境エネルギー工学科 土木科高校生を対象とした伝統的治水技術の実践的学習

近年多発する豪雨災害への対策として、宮崎県立延岡工業高校土木科の3年生8名を対象に、伝統的な治水技術を実践的に学ぶ講義、現場見学、演習等を行いました。

8月の第1回授業では、河川堤防の基本的な機能の講義後、延岡市北川町家田地区の、霞堤、氾濫履歴の標柱、避難用の小舟などを見学するとともに、地域の方より氾濫時の状況などの話を聞くなど実りある貴重な課外授業となりました。



延岡市北川町における課外授業

■長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 新規建設業入職者対象の道守補助員コース開催

建設業に就職3年以内の若手技術者を対象とした道守補助員養成講座を11月30日に開催しました。産官の12人が受講し、県の道路の現状、橋梁・トンネル・舗装・道路斜面等の劣化等の説明を受けた後に、経験豊富な道守認定者がコンクリート橋の現場点検実習を実施しました。



座学の様子



斜面の点検

■熊本大学大学院 先端科学研究部 熊本の水文化を世界に伝えるプロジェクト

ユース水フォーラムくまもとは、SDGsの精神に則り熊本の水文化を世界に発信する高校生をサポートするために2021年3月に結成されました。

熊本の水文化を世界に発信する3分間の動画づくりを行う「熊本の水文化ゼミ」は、本年度三期目を迎え、7校46名の高校生たちが無事当プログラムを修了しました。

令和5年度は、一期生たちが大学生となって活動をサポートしたり、高校の枠を越えたチーム結成となるなど、活動にも新しい流れが生まれました。



プログラム修了の高校生たち

3

地域活性化等 支援事業

公益目的支援事業活動交流発表会

令和5年9月13日(水)、令和4年度の公益目的支援事業の支援団体やその他の地域づくり団体を対象に、協会主催、九州地方整備局後援による「第2回 公益目的支援事業活動交流発表会」を開催しました。

本発表会は、九州7県の河川・道路等の社会資本整備に関する交流活動、地域活性化・環境保全に配慮した地域づくりに勤しむ活動団体の活動の励みやモチベーションの向上に役立つことを目的としています。

当日は、会場参加とZoomウェビナーによるオ

ンライン参加を併用し、88名の方々(会場46名、Web42名)にご参加いただきました。

活動団体6団体による活動成果や今後の展望の紹介を踏まえ、『継続ある活動』をテーマとした意見交換を行いました。

多様な場面で活動される参加者の皆さまからは、「世代継承の考え方が見えた」「広報の仕方、仲間づくりが参考となった」「九州の仲間が増えて活動の輪が広がり大変良かった」との感想や、今後議論したいテーマ等様々なご意見をいただきました。

1.開会あいさつ



(一社)九州地域づくり協会 九州地方整備局
理事長 田中 慎一郎 企画調整官 樋口 尚弘 様



コーディネーター
公益目的支援事業
審議委員会
玉川 孝道 委員長



噂の土木応援チーム
デミーとマツ
出水 様



特定非営利活動法人
天明水の会
西村 様



「中九州横断道路」の
早期完成を願う女性の会
堀 様



江北町
女性ネットワークの会
岸川 様



唐津街道
むなかた推進協議会
梅田 様



薩摩よりみち
風景街道協議会
田島 様

2.事例発表

- ①噂の土木応援チーム デミーとマツ(長崎県西彼杵郡)
- ②特定非営利活動法人天明水の会(熊本市)
- ③「中九州横断道路」の早期完成を願う女性の会(大分県竹田市)
- ④江北町女性ネットワークの会(佐賀県杵島郡)
- ⑤唐津街道むなかた推進協議会(福岡県宗像市)
- ⑥薩摩よりみち風景街道協議会(鹿児島県薩摩川内市)

3.意見交換

意見交換では、公益目的支援事業審議委員会の玉川委員長コーディネートのもと、会場やオンライン参加者を交えて「継続ある活動」をテーマに意見交換を行いました。



参加者の皆さんと記念撮影

- 総括
- 持続する志が強く伝わってきた!!
 - 地道な活動を積み重ねて地域や若者が魅力を感じる活動にしていきたい。

地域づくり団体向け交流ひろば

当協会では、地域で活躍されている皆さんの情報交換の場として「地域づくり団体向け交流ひろば」を新設しました。当交流ひろばでは、活動についての情報交換、企画したイベントの案内、活動する地域の自慢などを皆さんと共有することができます。

地域づくり団体向け交流ひろば
トップページ



閲覧のみの場合は、ユーザー登録の必要はありません。書込みをされたい場合は、右記のQRコードまたは協会のHPからユーザー登録が必要となります。



①河川・道路愛護活動を通じた地域活性化活動支援事業

河川や道路を舞台とした愛護・啓発等の活動とともに地域イベント等を開催し、地域活性化を図る

NPO等の団体活動を支援しています。
令和5年度は、3団体を支援しました。

和水川舟ペーロン大会

和水川舟ペーロン大会実行委員会

事業の内容

- 小学生の部、中学生の部、女性の部、一般の部の4部門に分かれ、8チーム108名が参加し、船をこぎタイムを競いました。

事業の効果

- 参加者が船をこぐ難しさを学んだり、同じチーム同士のコミュニケーションを深めるなど、川環境に関する意識をより深く持ってもらいました。



河川愛護活動

白川の清流と緑を守る会

事業の内容

- 一斉清掃(白川の日)
- 桜並木の管理育成(草刈り、清掃)
- どんどや(どんどや実施区域の草刈り、清掃)

事業の効果

- 一斉清掃等は、地域住民の環境意識の向上に役立っています。
- どんどやの活動は、力合地域の活性化につながり、白川沿いの桜並木は、市民の憩いの場となっています。



河川愛護活動

小島校区まちづくり委員会

事業の内容

- スカイフェスティバル開催
- 白川の日河川敷清掃活動
- 水防訓練
- 健康ウォーキング実施
- 小島公園桜管理

事業の効果

- スカイフェスティバルをコロナ前の規模に戻し実施したことで、町内外から多くの人で賑わいました。
- 地域住民との交流の場として、小島体協と共同で健康ウォーキングを開催、有意義でした。



②環境(体験)学習による人材育成活動等支援事業

水辺を遊びの場、自然体験の場、自然環境調査の場とするイベントを開き、川遊び、自然観察、環境(生物、水質)調査等の学習を通じて河川環境保全の重要性を啓発する活動を支援しています。

また、河川をフィールドとして活動する人材を育成し

ているNPO等やボランティア団体と地域住民が連携する活動についても支援しています。

令和5年度は、川を体験する諸活動や環境保全活動等の10団体を支援しました。

リバーチャレンジスクール

直方川づくり交流会

事業の内容

- 遠賀川から花のプレゼント ●サマースクール
- くり箸づくり ●バードウォッチング ●風揚げ
- 菜の花染め ●チューリップを描こう

事業の効果

- 子ども達の活動は、数多くの新聞やマスコミに取り上げられ、また、リバーチャレンジスクールの体験を通して描かれた河川愛護月間絵手紙が国土交通事務次官賞を受賞するなど、高い評価を得ています。



アザメの瀬関連事業

特定非営利活動法人 アザメの会

事業の内容

- アザメの瀬 田んぼの楽校
- 夏休み自然環境教室
- 田んぼで魚取り(堤がえし)
- ふくおか水もり自慢 in 遠賀川

事業の効果

- 子ども達が自分で考え行動し、観察したことを発表できるようになるなど、著しく成長したことが伺えました。
- 計画には無かった6年生もアザメ学習センターにて防災について学ぶなど、新しい取り組みを実施し好評を得ています。



ふるさとの水辺を生かす 体験学習と人材育成

自然と暮らしを考える研究会

事業の内容

- 体験型の学習支援と出前講座
- 川の安全教室
- 川辺の環境整備(環境美化と安全対策)
- 人材育成(交流・会議・WSなど)

事業の効果

- 子ども達の遊び場だけでなく、体験学習や幼少中高生の総合学習の場として支援することで、自然や郷土愛を育む大切な活動となっています。



●地域活性化等支援事業の一部を紹介

環境(体験)学習による 人材育成活動等支援事業

特定非営利活動法人 天明水の会

事業の内容

- 緑川ダム見学学習会
- 森づくり活動及び植林体験学習
- 竹炭焼き体験学習

事業の効果

- 植林活動は植えた後の森づくりが、長い年月を要し大変なことを理解した。
- 放置竹林問題解決のための一つが、竹炭焼き作業で解決することを理解しました。また、竹炭の特性を学び、さまざまな活用が可能なのも知りました。



ラブリーバー団体支援事業

始良川河川愛護会

事業の内容

- 稚アユ放流事業
- 始良川クリーン作戦
- 作文・図画ポスターコンクール
- 九州「川」のワークショップin大隅

事業の効果

- アユの放流は子ども会も参加して行われ、その放流体験は川の環境を考える良い機会となっています。
- クリーン作戦は、豊かで美しい川を後世に残すために始まった事業で、今では吾平地域の恒例事業になり、毎年多くの方が参加しています。



生き物マップを片手に、気軽に自然観察を楽しもう

宮崎市内を流れる山崎川沿いのエリアで、私たちは平成23年10月から活動し、現在の会員数は50名です。川や周辺道路のゴミ拾いや堤防の草刈りなどの美化活動を年に3回行くとともに、小学4年生を対象にした自然体験学習や中学生を対象にした水辺のモニター調査及びホタルの里づくりなどにも取り組んでいます。自然に恵まれた山崎川沿いでは、たくさんの鳥や昆虫、水生生物や植物が見られますので、私たちは、これらの種類と棲息域が一目で分かる「山崎川生き物マップ」を作成しました。このマップを片手に子どもたちや家族連れ、地域の人々が気軽に自然観察を楽しむことができるでしょう。協会からの支援金はマップ作成のため調査やデザイン、イラスト、印刷費などに役立ちました。



山崎川をきれいにする会
代表 飛松 國輝 氏



山崎川灯ろう祭り
(コスモス小径に子どもたちの灯ろう作品を並べます)

③河川・道路等の愛護活動支援事業

河川や道路等を慈しみ、住民参加型の維持管理（清掃・美化）を積極的に行い、道路利用者等へのマナー向上や道路愛護思想の啓発普及に努めている沿道住民、NPO、企業等団体のボランティア

活動（歩道清掃、花壇の維持管理）を支援することにより、地域コミュニティの活性化に寄与しています。
令和5年度は85団体を支援しました。

ボランティアサポートプログラム

よいいコスモス街道実行委員会

事業の内容

- 道路清掃活動
- コスモスの種まき前の除草活動
- コスモスの種まき、肥料まきから維持管理
- 福祉・コスモス祭りの開催

事業の効果

- 当活動を千年校区の人々に呼びかけ、多くの方々に参加して頂き、道路愛護の思想や美化意識の啓発普及に効果があり、バイパスと生活が結びついた感があります。
- 4年ぶりに開催した福祉・コスモス祭り、規模を縮小しての活動でしたが、地域に以前の活気が戻ってきました。



国道201号見立入口交差点及び 周辺の美化と清掃活動

松和会

事業の内容

- 国道周辺の美化と清掃
- 花壇の維持管理

事業の効果

- 交差点内の花壇に花が咲き、周辺のゴミを拾うことできれいになり、それが地域住民の気持ちを和ませ、交通事故防止の一助にもなっていると思います。



道路愛護（花の苗）

多久市そうじの会

事業の内容

- 年4回の多久インター付近花壇の花植
- 多久市内の清掃活動

事業の効果

- 毎月第3日曜日の清掃活動を当会だけでなく、VSP参加団体と合同で行うことにより、清掃場所が拡大し効果が上がっています。
- 花の苗を植えることにより、会員の美化意識が高まり、地域との交流も深まっています。



ボランティア活動(国道緑化、清掃活動)

天満スマイルクラブ

事業の内容

- 歩道の植栽帯とプランターへの花苗管理(花植え、除草、灌水)
- 歩道の清掃活動

事業の効果

- 花を植えたり、歩道の清掃活動をしていると、すれ違う人や、バスを待つ人など地域の方から労いの言葉や感謝の気持ちをいただき、この活動を続けていくやりがいを感じています。



ボランティア・サポート・プログラム

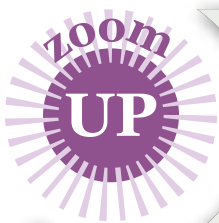
八嘉校区まちづくり委員会

事業の内容

- 花壇の花の管理、除草
- 花壇周辺の清掃

事業の効果

- 当事業の活動により、国道がきれいになり、ゴミの量も減って地域の人に喜ばれています。また、ドライバーからは心が和む道路だとの評価もいただいています。
- 八嘉小学校の子ども達の花いっぱい運動に参加するなど、活動の裾野が広がってきています。



花壇の設計から工夫し、個性あふれるデザインを実現

門司港レトロ地域で2001年から花壇の手入れを始めた私たちは、2019年にNPO法人を設立し活動を継続してきました。その歩みは23年間に及びます。現在、活動への参加者は年間で延べ132人です。九州の玄関口となる国道2号沿線の5つの花壇の手入れ、および門司港レトロ駐車場周辺の花壇整備などを行っています。

花壇は設計から担当し緑石の煉瓦の配色を工夫するなど、個性的なデザインを採用。花壇まわりの除草や清掃なども定期的に行い、四季それぞれに多彩な花が見られる環境を実現しています。テレビや新聞で取り組みが紹介され、会の認知度も上昇中です。協会からの支援金は苗木や肥料の購入などに役立っています。



NPO法人
門司港レトロ花の会
理事長 北里 幸良 氏



豊かな大分を目指そう大作戦

豊友会

事業の内容

- 道の駅周辺の道路清掃活動
- 大分駅周辺、国道10号、210号周辺の道路清掃と施設点検
- やまなみハイウェイ清掃活動

事業の効果

- 清掃活動の一部は、一般の方や学生の参加もあり、令和5年度は全体で700名以上と広がりをみせています。
- 豊友会として県内事務所を支援しつつ地域への活動を続け、令和3年度は高校生からの参加依頼もあり、次世代を支援することを始めています。



ボランティア・サポート・プログラム

日南海岸コバノセンナを育てる会

事業の内容

- いるか岬のコバノセンナの補植
- サクラ植栽地の下草刈り、剪定

事業の効果

- いるか岬のコバノセンナは、毎年補植を繰り返していることで、秋には鮮やかな黄色の花が通行する人たちを楽しませています。
- 技術的に困難な作業(下草刈りなど)は、造園会社がボランティアとして参加してくれていて、活動を継続することができています。



ボランティア・サポート・プログラム

旧市花壇サポートクラブ

事業の内容

- 花壇に苗植え、水やり、草取り、清掃活動

事業の効果

- 信号待ちの車の運転手や住民の癒しになっています。
- 道行く人から、きれい、楽しみ、元気が出る、などの声をいただき、活動の励みになっています。



●地域活性化等支援事業の一部を紹介

自然体験の場「田代原遊々の森」周辺 道路の美化、清掃活動

NPO法人 奥雲仙の自然を守る会

事業の内容

- 「田代原遊々の森」周辺道路の美化、清掃活動

事業の効果

- 長崎大学環境科学部から教員を含めた学生の参加があり、雲仙地域の自然環境や道路美化の重要性について理解してもらえました。
- 当団体が長期的に社会貢献活動をしてきたことに対し、(公財)長崎ボランティア振興基金から表彰をいただくことができました。



道路及び河川敷の美化作業

南小国町ボランティア行動隊

事業の内容

- 国道212号沿いのゴミ拾い活動
- 河川沿い及び通学路の草刈り作業

事業の効果

- 継続してゴミ拾い活動を実施することで、ゴミの量は確実に減ってきており、同時に地域住民の参加者も増え、美しい自然を大切にする気運が高まってきたように感じます。
- 草刈り作業によってきれいになった道路の利用者から快適になったと感謝の言葉をいただいています。



大井手を守る会
代表 長野 信行 氏

52年間、継続してきた、息の長い河川道路愛護活動

約400年前、熊本県の白川中流域に加藤清正公が農業用水路として築いたのが大井手です。平成30年には世界灌漑施設遺産に登録されました。私たちは全長約800mの水路沿線を52年もの間担当しており、令和5年度河川道路愛護活動を継続したことにより、国土交通省熊本河川国道事務所長から感謝状を授与されました。毎月第1日曜日、水路の清掃、水路沿い道路の草刈りと清掃、アジサイの補植などの美化活動を定期に行っています。ユニークなのはホタルの産卵から育成し、街中でホタルが舞う憩いの町づくりを目指しています。また、7年前からアジサイロード計画を立て、現在150mに拡大しています。地域と協同して花見や夏祭りなどを行うなど、会の認知度も高まっています。協会からの支援金は草刈り機やアジサイの苗の購入、熱中症対策の給水などに活用しています。



④地域資源の活用による地域活性化活動支援事業

身近な公共空間である「道」を舞台に、地域資源（景観、自然、歴史、文化、考古、食・産物、祭り等）を最大限活用し、住む人・訪れる人にとって魅力的な九州を実現することを目的に、「九州風景街道」の

取り組みを管内15ルートで展開しています。

これらの活動を進める多様な主体（地域住民、NPO、町内会・自治会等）の諸活動を支援しています。
令和5年度は10団体の活動を支援しました。

地域周遊観光促進事業及び 街道活用促進事業

唐津街道むなかた推進協議会

事業の内容

- 街道整備事業
- 赤門宿音楽イベントの実施
- 写真等保存活動

事業の効果

- 清掃活動だけでなく、ピクニック等のイベントを組み合わせることで、幅広い世代の参加者が増加し、多くの方に唐津街道を知る機会が創出されました。
- 唐津街道にまつわる写真等の保存活動を通し、街道を守っていかなければならないという機運が醸成されています。



日本風景街道・豊の国歴史ロマン街道

豊の国風景街道推進協議会

事業の内容

- ガイドブック作成のための調査・編集
- 豊前の街道探索ウォーク
- 宇佐神宮見学会
- 歴史講演会

事業の効果

- 一連の活動により、広く豊前の街道や地域の歴史的資源について理解を深めることができ、多くの方に豊前の街道を周知することができました。



やまなみハイウェイつながる・ひろがる プロジェクト

九州横断の道 阿蘇くまもと路

事業の内容

- シンポジウムの開催
- やまなみハイウェイ斉清掃活動
- 長崎風景街道調査

事業の効果

- この事業の意義を伝えることで、総勢300名を越す人たちに活動に参加してもらえました。さらに、地場企業にも協力していただき、企業が行う地域貢献活動としても認知してもらうことができました。



第六回日本世間遺産学会in別府

日本風景街道別府湾岸・国東半島海への道推進協議会

事業の内容

- 街歩きイベントの開催
- 町づくり意見交換会開催

事業の効果

- 世間遺産をSNSでの地図上に落とし込み、新しい観光の切り口として地域の発展に寄与しています。
- 参加した町民はもちろん、町外者にとっても、新しい視点で見るふるさは新鮮で、今後各地で広がっていく可能性を感じられます。



かごしま風景街道周知啓蒙活動

かごしま風景街道推進協会

事業の内容

- 鹿児島ブロック、指宿ブロック、桜島ブロックに点在する地域資源を3回に分けて紹介

事業の効果

- 地域の歴史や昔からの社寺、地形地質などを紹介することで参加者の関心を高め、また、“まちあるき”で地域資源に直に触れ、その魅力を再認識していただきました。



合同バスツアーの受入準備で、地域資源を見直す

「ながさきサンセットロード」、「あまくさ風景街道」、および当会「薩摩よりみち風景街道」が取り組む「日本風景街道 西九州3県合同バスツアー」は、平成30年に「ながさきサンセットロード」が1回目を担当し、2回目が当会の予定でした。ところが、コロナ禍により延期され、ようやく今年度、開催できることになり、地域の民間パートナーシップ団体と行政が協働し準備を進めてきました。しかし、他ルートの参加団体の日程調整ができず、残念ながら中止となりました。今回、受入準備を進める中で地域資源を見直し活用への意欲を高めながら、パートナーシップ間の情報共有と交流を図ることができました。協会からの支援金は受入準備のPR動画制作、交通費、印刷費などに活用しました。



薩摩よりみち風景街道
協議会
会長 今藤 尚一 氏



4

防災活動等 支援事業

災害復旧技術講習会(協会主催)

■概要

近年、激甚な自然災害が頻発するなか、被災市町村では、災害査定などの普段体験しない対応と膨大な実務が限られた職員に求められています。

こうした状況下、当協会では、平成29年九州北部豪雨災害により被災した福岡県の朝倉市や東峰村に対して、災害復旧技術専門家と連携を取りながら、4年間をかけて災害復旧の支援活動を行ってきました。

この実績をもとに、当協会では、令和4年度より年度内2回、九州7県の市町村職員等を対象とした災害復旧事業を基礎から学ぶ機会を企画し、市町村職員の災害対応能力の向上に努めています。

当講習会は、令和5年6月13日及び令和6年2月2日の年度内2回、会場参加及びWeb聴講で開催しました。

■内容

第3回目:令和5年6月13日 受講者178名(会場参加23名、Web聴講155名)

- ①「災害復旧事業制度について」 災害復旧技術専門家 後藤 信孝 氏
- ②「災害査定の留意点について」
国土交通省 水管理・国土保全局 災害査定官 渡邊 重紀 氏
- ③「TEC-FORCE活動と災害復旧事業の動向について」
国土交通省 九州地方整備局 災害対策マネジメント室 室長 寺尾 幸太郎 氏
- ④「災害査定でのDXの取り組み等について」
国土交通省 九州地方整備局 災害対策マネジメント室 課長補佐 田畑 浩規 氏
- ⑤「被災市町村への支援事例について」
(一社)九州地域づくり協会 技術部長 久留 省二



会場の様子



後藤 氏



渡邊 氏



寺尾 氏



田畑 氏



久留 技術部長

第4回目:令和6年2月2日 受講者145名(会場参加27名、Web聴講118名)

- ①「災害復旧事業制度について」「改良復旧関係事業について」 災害復旧技術専門家 後藤 信孝 氏
- ②「災害査定の留意点について」 国土交通省 水管理・国土保全局 災害査定官 小川 渉 氏
- ③「DXを用いた新しい災害査定(試行)について」 鹿児島県 土木部 道路維持課 技術主査 眞邊 武志 氏
- ④「被災市町村への支援事例について」 (一社)九州地域づくり協会 技術部長 久留 省二



後藤 氏



小川 氏



眞邊 氏



久留 技術部長



会場の様子

①九州防災エキスパート会活動支援事業(令和5年度活動状況)

九州防災エキスパート会は、国土交通省九州地方整備局OBで組織する九州地方整備局業務のアドバイス又はオブザーバーの立場で行動するボランティア団体です。

これまで培ってきた防災の知識や技術を活かし、災害時には現場に出動して復旧工法の助言などを

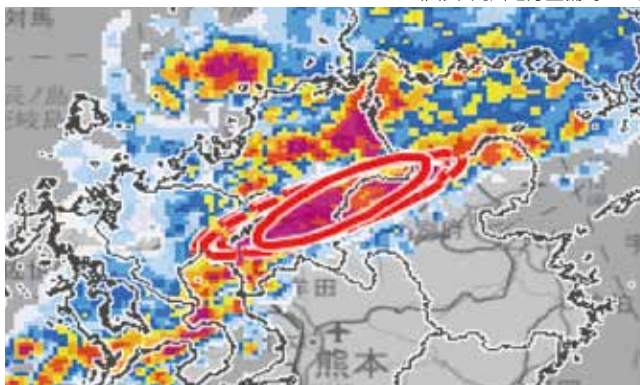
行うとともに、平常時には各事務所が実施している出水期前の点検、訓練などの防災活動に同行し助言などを行う他、防災担当者や水防団などを対象とした水防工法の指導なども実施しています。

本部及び九州内16支部からなり、令和5年12月末現在の会員数は452名となっています。

1、災害時の主な支援活動

(1)各支部における支援

(出典:九州地方整備局HP)



[雨量レーダー]7月10日9時頃

令和5年7月9～10日の梅雨前線の影響により、九州北部に線状降水帯が発生し、英彦山と耳納山の24時間雨量は400mmを越える大雨となり、筑後川、遠賀川、山国川、松浦川の4水系で氾濫による浸水被害が発生しました。

筑後川の53km付近や支川の巨瀬川・佐田川で護岸崩壊等が発生し、山国川の10km400付近においても河岸崩壊が発生したため、当エキスパート会は、各事務所の要請を受けて現地等に出動し、被害確認や災害対応の助言等を行いました。



筑後川河川事務所での助言の様子



筑後川支川巨瀬川 右岸9K050

(2)新たな支援の取り組み

7月10日豪雨により福岡県久留米市等で発生した浸水被害箇所では、九州地方整備局からの要請を受け、整備局災害対策室へ、4日間、延べ6名の当会会員を派遣しました。



7月18日 整備局災害対策室

この取り組みは、令和5年6月に九州地方整備局と当会で確認したTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)活動への支援の一貫であり、整備局本部に当会会員を派遣し、整備局本部と現地TEC-FORCE隊長とのWeb会議において、被災状況把握のポイントや報告書取りまとめ時の留意点等についてアドバイスを行いました。

2、平常時の防災支援活動

(1)総合水防演習への支援

令和5年度は、九州地方整備局主催の総合水防演習が遠賀川で開催され、当会遠賀川支部より9名が参加し、水防工法の土のう積などの技術的助言を行いました。



土のう積へのアドバイス

(2)緊急対策シミュレーションへの支援

河川系事務所が行う洪水や地震対象の堤防決壊時の緊急対策シミュレーションに参加し、迅速な復旧工法、資材調達方法、仮設計画等への助言を行いました。



宮崎河川国道事務所での意見交換

☆R5実施事務所:筑後川河川、武雄河川、長崎河川国道、大分河川国道、佐伯河川国道、山国川河川、宮崎河川国道、延岡河川国道、川内川河川

(3)道路法面等の防災点検への支援

道路系事務所が行う道路法面の防災点検に同行し、要対策箇所や対策工法等について助言を行いました。



佐伯河川国道事務所での防災点検

☆R5実施事務所:北九州国道、佐賀国道、八代河川国道、大分河川国道、佐伯河川国道、大隅河川国道、鹿児島国道

②災害被災地への復旧支援事業

「令和5年7月の梅雨前線による大雨」により、被害の大きかった自治体に対して、8月17日に福岡県広川町、8月21日に福岡県久留米市へ寄附金目録の贈呈を行い、被災自治体の速やかな復旧・復興を支援しました。



広川町長へ目録贈呈（R5.8.17）



久留米市長へ目録贈呈（R5.8.21）

③防災ボランティア活動等支援事業

■災害ボランティアへの支援

「令和5年 梅雨前線による大雨」に伴う災害ボランティア活動に対して、下記の4団体へ支援を行いました。

団体名(代表者名)／所在地	活動概要や活動時の感想など	活動地区と期間
①ネイチャーあぐり (樫本攻) 福岡県春日市	 熊本地震をはじめ、中国・四国地方、朝倉市と災害ボランティア活動を続けており、今回は久留米地区において、家屋周りの土砂の掻き出しと田畑の土砂の搬出を実施した。	久留米市・朝倉市 2023.8.1～11.3
②防災グ (平川文) 福岡県朝倉市	 朝倉市での災害経験があるため、行政・社協・コミュニティの連携が良好であり、今回の災害では、土砂撤去作業とともに、住民への寄り添いを重要視し、作業はできるだけ住民と共に、地域全体で協力し合いながら取り組んだ。	久留米市・朝倉市 2023.7.12.～10.31
③ロハス南阿蘇たすけあい (井手順二) 熊本県南阿蘇村	 災害発生時、必要とされる被災地域へおもむき、約800人の会員ネットワークにより、物資支援や生活再建への支援を行うとともに、平常時は、地域や子供食堂のお手伝いや年4回の環境問題への活動(海岸清掃)を行った。	うきは市・田主丸町、 唐津市等 2023.7.12～10.3
④宇佐市防災士会 (斉藤文博) 大分県宇佐市	 今回、宇佐市で崩落が発生したため、重機を利用して土砂撤去、碎石充填、土のうによる仮設的な施工を行った。人力で対処出来ない場所も多数あり、今後は重機作業や専門技術を持ったボランティア支援が必要と痛感した。	大分県宇佐市 2023.7.12～10.3

■まちなか防災2023への支援(NPO法人 白川流域リバーネットワーク)

熊本市中心街・下通アーケードにおいて、多くの来訪者等に対して、70年を迎えた「6.26 白川大水害」などの過去の洪水被害状況の写真や動画展示、白川の特性と防災・減災に向けたパネル展示、洪水ハザードマップ及び洪水VRを使用した居住地域・市街地の洪水リスク認識を高める活動等を通

じて、水害から自分や身近な人の命を守るための備えと早めの行動につながる水防災啓発活動を2日間実施しました。

■6月24日(土) 参加人数:725名

■6月25日(日) 参加人数:1,246名



6.26白川大水害 回廊式展示



防災メッセージの記入



熊本市ハザードマップ展示



水害の備え(RKKテレビ生中継中)



洪水VR体験コーナー



新市街側 浸水深表示とのぼり

令和5年度 九州地域づくり協会 支援団体一覧表

広報活動支援事業

23団体

特定非営利活動法人 遠賀川流域住民の会
I LOVE 遠賀川活動

特定非営利活動法人 はかた夢松原の会
多様な道路空間～緑を活用した安全・安心の国道道路～

道守大川ネットワーク
道守活動

道守柳川ネットワーク
道守清掃事業

道守佐賀会議
道守体験事業・道守交流会

第27回 水シンポジウム2023 in さが実行委員会
第27回 水シンポジウム2023 in さが **P6**

特定非営利活動法人 道守長崎
道守支援事業 **P6**

噂の土木応援チームデミーとマツ
映像で伝える土木の魅力プロジェクト **ZOOM UP P6**

土木の日 熊本実行委員会
土木の日 熊本行事 **P7**

道守大分会議
みちづくし in 竹田 2023

おおいた建設人材共育ネットワーク
土木の日 大分行事

“語ろうみんなて! 三つの輪”実行委員会
語ろうみんなて! 三つの輪シンポジウム
(道の駅・日本風景街道・道守)

道守みやざき会議
令和5年度 宮崎県内道守活動支援事業

宮崎県「土木の日」実行委員会
宮崎県「土木の日」

宮崎「橋の日」実行委員会
第37回 宮崎「橋の日」イベント **P7**

日南「橋の日」実行委員会
第11回 日南「橋の日」イベント

日本風景街道大学実行委員会
第14回 日本風景街道大学

道守かごしま会議座談会・研修会等
(道守かごしま会議)事業
道守かごしま会議

九州建設技術フォーラム実行委員会
九州建設技術フォーラム 2023

インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム
インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム **P7**

海の中道「フラワーピクニック」実行委員会
海の中道フラワーピクニック 2023

(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部
令和5年度「地域の夢・アイデア発掘・活用事業」

(一社)九州橋梁・構造工学研究会(KABSE)
未来の建設インフラを担う九州地区大学・高専の若手人材ネットワークの
育成とそれに伴う学生主体の実践的な研修会の実施

地域活性化等支援事業

① 河川・道路愛護活動を通じた
地域活性化活動支援事業 **[3団体]**

和水川舟べーロン大会実行委員会
和水川舟べーロン大会 **P17**

白川の清流と緑を護る会
河川愛護活動 **P17**

小島校区まちづくり委員会
河川愛護活動 **P17**

② 環境(体験)学習による人材育成活動等
支援事業 **[10団体]**

直方川づくり交流会
リバーチャレンジスクール **P18**

田川ふるさと川づくり交流会
彦山川等河川環境保全活動事業

特定非営利活動法人 アザメの会
アザメの瀬関連事業 **P18**

自然と暮らしを考える研究会
ふるさとの水辺を生かす体験学習と人材育成 **P18**

永昌東町自治会
本明川魚つかみ取り大会

特定非営利活動法人 天明水の会
環境(体験)学習による人材育成活動等支援事業 **P19**

赤江未来の会
魅力あるふる里の川づくり

こうやま 川の少年団
川を体験する諸活動

始良川河川愛護会
ラブリバー団体支援事業 **P19**

山崎川をきれいにする会
山崎川生き物マップ **ZOOM UP P19**

③ 河川・道路等の愛護活動支援事業
[85団体]

不知火町公民館
不知火町公民館 国道208号 道路愛護・地域活性化等活動

けやき通り発展期成会
道路等の愛護活動支援事業

4町内環境美化委員会
国道208号 道路愛護・地域活性化等活動事業

大牟田市民憲章推進委員会
大牟田市民憲章推進委員会 国道208号 街路美化事業

久大生コン内環境美化委員会
ボランティア・サポート・プログラム

よしいコスモス街道実行委員会
ボランティアサポートプログラム **P20**

ごみゼロ青春探検隊いとしま
地域活性化支援事業

たんぼぼの会
ボランティア・サポート・プログラム

野多目大橋花クラブ
ボランティア・サポート・プログラム

双葉工業株式会社
ボランティア・サポート・プログラム

川原町老人クラブ
国道210号 バイパス線歩道等清掃緑化活動

大和ハウス工業株式会社ボランティア活動の会
ボランティア・サポート・プログラム

道守おおむたネットワーク
国道208号 道路愛護・地域活性化活動

福岡・橋守マイスター会
福岡・橋守マイスター会活動

高坊二丁目南町内会
町内美化活動・花植栽

松和会
国道201号 見立入口交差点及び周辺の美化と清掃活動 **P20**

花と緑の会
一般国道10号 小倉南区湯川新町地区花壇の管理道路美化清掃

NPO法人 門司港レトロ花の会
門司港地域における環境美化、整備、維持、管理活動 **ZOOM UP P21**

株式会社 田舎暮らし
美化・清掃活動

多久市そうじの会
道路愛護(花の苗) **P20**

環境を守る会
道路愛護

葉隠会道守部会
一般国道34号 外佐賀地区外道路美化活動

江北町女性ネットワークの会
道路清掃及び美化活動を目的とした地域女性活動の活性化事業

ロード・スターズ
ボランティア長崎

共新電設工業株式会社
ボランティア活動(清掃)

クローバー・ロード清掃隊
ボランティア(清掃)活動

九州ガス株式会社 大村支店
ボランティア長崎

天満スマイルクラブ
ボランティア活動(国道緑化、清掃活動) **P21**

竹友会
ボランティア長崎

大菱電気工業 クリーン＆グリーン推進隊
ボランティア活動(清掃)

玉東町 町区会
VSP 208号清掃、花壇管理事業

稲佐地区会
ボランティアサポートプログラム

八代ドライビングスクール職員組合

ボランティア・サポート・プログラム

株式会社 森工業

ボランティア・サポート・プログラム

大津町商工会女性部

道路の愛護活動事業（環境美化運動）

八嘉校区まちづくり委員会

ボランティア・サポート・プログラム

P21

豊友会

豊かな大分を目指そう大作戦

P22

生石港町 自治会

国道10号 別大国道清掃美化活動

顕徳町老人会デウスクラブ

道路愛護活動

別府市上人ヶ浜町自治会

国道10号 道守花壇（別府市上人ヶ浜）活動

西生石自治会

国道10号 西生石地区道路清掃美化活動

竹田市立 菅生小学校

菅生ゴミO（ゼロ）大作戦

旭建設株式会社

ボランティア・サポートプログラム活動

都城市市役所10号線通り会②

ボランティア・サポート・プログラム

内海地区自治会・公民館

ボランティア・サポート・プログラム

日南海岸コバノセンナを育てる会

ボランティア・サポート・プログラム

P22

バス停に花を飾る会

ボランティア・サポート・プログラム事業

富士区

ボランティア・サポート・プログラム事業

鶴戸山をかつとしやる協議会

ボランティア・サポート・プログラム事業

社会福祉法人 つよし会つよし学園成人部

ボランティア・サポート・プログラム事業

小吹毛井区福祉推進会

ボランティア・サポート・プログラム事業

日南市立鶴戸小中学校

ボランティア・サポート・プログラム事業

大黒グループ

ボランティア・サポート・プログラム事業

小目井花いっぱいし隊

ボランティア・サポート・プログラム事業

宮崎日南生活ロード女性の会

ボランティア・サポート・プログラム事業

霧島会

ボランティア・サポート・プログラム

島山花いっぱい地域づくりの会

ボランティア・サポート・プログラム

新上橋電車通り会

ボランティア・サポート・プログラム

草牟田通り会

ボランティア・サポート・プログラム

栄門通り会

ボランティア・サポート・プログラム

伊敷町通り会

ボランティア・サポート・プログラム

鹿児島市立河頭中学校

ボランティア・サポート・プログラム

鹿温会ボランティアグループ

ボランティア・サポート・プログラム

平山お達者レディースクラブ

ボランティア・サポート・プログラム

旧市花壇サポートクラブ

ボランティア・サポート・プログラム

P22

特定非営利法人 How to 21 Club

ボランティア・サポート・プログラム活動

妻生田西区自治会

ボランティア・サポート・プログラム

御陵下地区環境美化グループ

ボランティア・サポート・プログラム活動

河頭町内会

ボランティア・サポート・プログラム

株式会社 アルファー

ボランティア・サポート・プログラム

郷之原夢楽づくり協議会

VSP（220号 清掃・植栽帯管理活動）事業

札元商工親睦会

VSP（220号 清掃・植栽帯管理活動）事業

柘原地区振興会

VSP（国道220号 清掃・植栽管理活動）事業

たるみず折鶴

国道220号 垂水荒崎パーキング清掃他活動

NPO法人 奥雲仙の自然を守る会

自然体験の場「田代原遊々の森」周辺道路の美化・清掃活動

P23

南小国町ボランティア行動隊

道路及び河川敷の美化作業

P23

諫早市多良見町市布地区老人会『市寿会』

ボランティア・サポート・プログラム活動事業
（一般国道34号多良見町市布バス停近辺）

新和技術コンサルタント株式会社

ボランティア・サポート・プログラム

本明川をきれいにしゅう会

本明川河川敷の除草・清掃・コスモスの植栽

黒崎干陸地を守る会

本明川河川敷の植栽による地域活性化事業

特定非営利活動法人 拓生会

本明川河川敷への花の植栽による地域活性化事業

大井手を守る会

大井手を守る活動

ZOOM UP P23

津留地区ふるさとづくり運動推進協議会

花いっぱい活動及び清掃活動

花緑自治公民館

花緑柳河原川クリーン作戦

特定非営利活動法人 コノハナロード延岡市民応援隊

コノハナロード百年校事業

④ 地域資源の活用による地域活性化活動
支援事業

[10団体]

唐津街道むなかた推進協議会

地域周遊観光促進事業及び街道活用促進事業

P24

豊の国風景街道推進協議会

日本風景街道・豊の国歴史口マン街道

P24

歩く唐津街道の旅

令和5年度 街道遺産発見ウォーク事業「歩く唐津街道の旅」

ながさきサンセットロード振興会

日本風景街道「ながさきサンセットロード」推進事業

九州横断の道 阿蘇くまもと路

やまなみハイウェイつながる・ひろがるプロジェクト

P24

日本風景街道別府湾岸・国東半島海への道推進協議会

第六回日本世間遺産学会 in 別府

P25

九州横断の道やまなみハイウェイ協議会

日本風景街道「九州横断の道やまなみハイウェイ」

日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会

令和5年度 日豊海岸 食料供給前線基地交流環境整備事業

かごしま風景街道推進協会

かごしま風景街道周知啓蒙活動

P25

薩摩よりみち風景街道協議会

令和5年度薩摩よりみち風景街道観光客受入事業

ZOOM UP P25

防災活動等支援事業

1団体

地域防災活動等

[1団体]

NPO法人 白川流域リバーネットワーク

まちなか防災2023

P28

 中の数字は掲載頁を表しています。 の色の事業はZOOM UPのコーナーに掲載しています。

公益目的事業報告書

発行日／令和6年4月

発行者／一般社団法人 九州地域づくり協会

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目5-19(サンライフ第3ビル4F)

TEL(092)481-3781 FAX(092)481-3785

<https://www.qscpua.or.jp/>

